

家畜損害防止関連情報

◆ 第10回 恩返しの幕開け

無事にお産は終わり、ホッと気を抜くと宝物は土に戻ってしまいます。今回は、分娩直後の注意点を考えてみましょう。

子牛について、次の項目を観察して下さい。

①	見た目には四肢・顔と頭などに異常はありませんか(鎖肛・尿道下裂・フリーマーチン=写真1)?
②	呼吸はしていますか?
③	鼻にネバコイ粘液が付いていませんか?
④	布のような胎膜の切れ端が付いていませんか?
⑤	かわいそうですが、バケツで冷たい水を頭にかけて、鼻や口の周りを乾いた布できれいに拭いてやりましょう =頭を振って呼吸が始まります。
⑥	親の鼻先から1尺前後離して下さい=親牛が、子牛をなめるために動き、自然にへその緒が切れます。
⑦	切れた所にヨード剤をよく吹き付けます。
⑧	特に、へその緒からの出血に注意します(出血が糸を引くような時や、腸が出ている時(ヘルニヤ)は、獣医師に連絡=写真2)。
⑨	初乳は(絞って)、3時間以内に飲ませましょう(病気の抵抗力をつける事と胎便の排泄のため)。
⑩	介助産をした時は、ロープをかけた肢の繋ぎや蹄冠部の腫れ・内出血・運動機能に注意しましょう。



写真1 =フリーマーチン(小岩、2001)…オスとメスの双子の時、メスは繁殖用にならない。
外陰部の形・大きさ、陰毛の硬さと、膣の長さで判断するが、獣医師に診断してもらう。



写真2＝臍帯からの出血(Sanctuary、2005)…臍帯が切れた所から血が雫のように落ちていたり、糸を引いたように落ちていたり良く調べる。糸を引いたように出血している時は、すぐに獣医師に治療してもらおう。

母牛について、次の項目を観察して下さい。

①	呼吸の乱れや脱力感は見られませんか(子宮破裂・内出血)?
②	外陰部や肛門周囲に傷はありませんか(肛門・外陰部裂傷)?
③	努責(後陣痛)はいつまでも強く続いていませんか(双子・子宮破裂)?
④	四肢は正常に動いていますか(産後起立不能、脱臼や骨折、筋肉や神経の損傷)?
⑤	分娩後、2～3時間目頃に乳房を軽くマッサージし、乳房に局所的なしこりや色の変った所が無いかわ、初乳を搾り子牛に飲ませましょう。
⑥	目の粘膜の色に注意しましょう(子宮・子宮頸管・膣の出血)。

分娩後のちょっとした配慮不足が、子牛の死亡や母牛の乳房炎・繁殖障害の原因を作ります。頑張りましょう！収入がプラスになるまでは！